

## 英語教育実践論(5)

## 教材研究 Do's and Don'ts

南 村 俊 夫

## 「読み」の教材研究

英語をどう読んでいったらいいのだろうか。例えば、次の文がある。

Pablo Picasso was born in 1881. So probably you are wondering why we have called him “the youngest painter in the world.” When he died, in 1973, he was 91 years old. But he still took his paints and brushes to start a new picture as if he were seeing things for the first time. For that reason we have called him the “youngest” painter.

Young people are always trying new things and new ways of doing things. They don't hesitate to try one thing after another. Eager to experiment, they welcome new ideas. They are restless and alive and never satisfied. They try to reach perfection.

Older people often fear change. They know what they can do best. They prefer to repeat their success, rather than risk failure. They have found their own place in life and don't like to depart from it. We know fairly well what to expect from them.

(Creative English Course II 第一学習者)

文中の下線部の訳を生徒が次のように訳した。

「私たちはお年寄りから何を期待しているかまあまあ分かっている。」

この訳だと前後とうまく合わないのである。第2段落と第3段落を訳してみよう。

若者は常に新しい事柄や物事をする新しいやり方にチャレンジする。彼らは躊躇せず次々といろいろな事柄を試みる。実験に積極的で、新しい考えを歓迎する。彼らは常に生き生きと活動を続け決して満足することはない。彼らは完全さを追い求めようとするのである。

年寄りは変化を恐れる場合が多い。失敗するかもしれないリスクを選ぶより自分達のうまくやった所を繰り返したがる。彼らは人生でぬくぬくできる場を

見つけて、そこから出たがろうとはしない。私たちはお年寄りから何を期待しているかまあ分かっている。

この下線部の訳だが、これでは下線部を訳したとは言えない。というのは、訳ができていないからである。この訳がいけない、ということをもどのように説明したらよいだろうか。

この2つの段落は **Contrast** と呼ばれる段落である。それぞれの違いが対照的に述べられている。

[表1]

第 2 段 落	第 3 段 落
[段落の主題文] 若者は常に新しい事柄や物事をする新しいやり方にチャレンジする。	[段落の主題文] 年寄りは変化を恐れる場合が多い。
[主題文の具体例A] 彼らは躊躇せず次々といろんな事柄を試みる。 実験に積極的で新しい考えを歓迎する。	[主題文の具体例A] 失敗するかもしれないリスクを選ぶより自分達のうまくやった所を繰り返したがる。
[主題文の具体例B] 彼らは常に生き生きと活動を続け決して満足することはない。	[主題文の具体例B] 彼らは人生でぬくぬくできる場を見つけて、そこから出たがろうとはしない。
[まとめ] 彼らは完全さを追い求めようとするのである。	[まとめ]

これを要点だけに絞ってみよう。

〔表2〕

第 2 段 落	第 3 段 落
〔段落の主題文〕 若者は常に新しい物事にチャレンジする。	〔段落の主題文〕 年寄りの変化を恐れる。
〔主題文の具体例A〕 若者はいろんな事柄を試み、積極的に新しい考えを歓迎する。 (失敗を恐れない)	〔主題文の具体例A〕 年寄りには失敗を恐れ、過去のうまくやった所を繰り返す。 (失敗を恐れる)
〔主題文の具体例B〕 若者は生き生きと活動を続け決して満足することはない。 (現状に満足しない)	〔主題文の具体例B〕 年寄りにはぬくぬくできる場を見つけ、そこから出たがらない。 (現状に満足している)
〔まとめ〕 彼らは完全さを追い求めようとするのである。 (チャレンジ精神に溢れている)	〔まとめ〕 ( )

以上の2つの表をもとに〔表2〕の最後の「まとめ」に何が入るかを想像させると、( )の中には(チャレンジ精神がない)が入るとすぐ答えが出てくる。次に、「まとめ」にどのような日本語が入るかを考えさせると、「年寄りには何も期待できない」という内容がたいていの場合生まれてくる。ここまでは、老人について述べた段落の最後の下線部の文を見なくても推測できるのである。この上にとって、下線部を考えさせると、「老人に何を期待するかはかなりよく分かっている」が誤りとは言えないまでも的を射た訳になっていない、と理解させられ、「老人に期待することなどたかが知れている」という訳をさせるのにそれほど困難を生じないのである。

このようにある文を理解させるということは単に語彙や文法だけの問題ではなく、段落内の各文の関係、段落と段落の関係、段落と全体のテーマなど様々な角度から考えていく必要がある。いわば、「読みの文法」が必要になってくるのである。

In North America and Europe, it is generally considered important to look people straight in the eyes when talking to them. This is a sign that the listener is paying attention and showing respect for the speaker.

この段落を訳して見よう。

「北アメリカやヨーロッパでは彼らに話しかける時、人の目を真っ直ぐ見ることが重要だと一般に考えられている。これは聞き手が話し手に注意を向け、敬意を払っているという合図なのである。」

この訳だと、「彼ら」と「人の目」の「人」が違うような印象を与えるし、「これは」は「人の目をみる」ことなのか、「一般に考えられていること」なのかがはっきりしない。そこでこの文章の2つの下線部を代名詞ではなく、元の名詞で訳してみよう。

「北アメリカやヨーロッパでは人に話しかける時、その人の目を真っ直ぐ見ることが重要だと一般に考えられている。この人の目を真っ直ぐに見ることは聞き手が話し手に注意を向け、敬意を払っているという合図なのである。」

このように訳していくと意味がはっきりとして誤解を生まない。

[指導]

Learning another language is important, because it enables us to communicate with people in a different country and to learn more about that culture. But the real importance of learning another language goes even deeper. It makes us realize the relativity of our values, whether they are cultural or or linguistic.

T: この段落を見て下さい。because の次に it があります。この it の指すものはなんでしょうか。S1 君。

S1: learning another language です。

T: Good. では、it をその意味で、because 以下を訳してみてください。

S1: というのは外国語を学ぶということは違った国の人々とのコミュニケーションを可能にし、その国の文化をもっとよく知ることが可能にしてくれるからである、です。

T: Very good. これをもう少し日本語らしくしてみましょう。「外国語を学べば、違った国の人々とのコミュニケーションができるようになるし、その国の文化をもっとよく知ることができるようになる」の意味ですね。では、最後から2行目の it はどういう意味ですか。S2 君。

S2: 違った言語を学ぶことの本当の重要性、ですか。

T: どうでしょう。values までをその意味で訳して見て下さい。

S2: 違った言語を学ぶことの本当の重要性は自分の国の多様な価値の相対性を

我々に理解させてくれる。

T：重要性が理解させてくれるのですか。

S2：違うような気がします。

T：では何が理解させてくれるのでしょうか。S3 さん。

S3：違った言語を学ぶことは、が主語になると思います。

T：その通り。「違った言語を学ぶことは自分の国の多様な価値の相対性を我々に理解させてくれる」となるのですが、「多様な価値の相対性」とはどういうことでしょうか。S3 さん。

S3：「自分の国にある様々な価値が他の国では価値がなかったり、あるいはもっと価値を持っていたりすること」です。

T：Good. それをうまく日本語にできますか。S4 さん。

S4：外国語を学べば、自分の国で当然と思ってきた価値観が必ずしも絶対ではなく、時には価値がないものになったり、時にはもっと価値があるものになったりすることに気がつく、ということです。

T：その通りです。では最後の they は何を指していますか。S5 君。

S5：values です。

T：ではそれで最後の whether 以下を訳してみてください。

S5：その価値が文化的なものであれ、言語的なものであれ、という訳になります。

T：Good. ではこの 1 文はいったい前の文とどういう関係なのでしょう か。S6 さん。

S6：前の文の具体例です。

T：その通りです。では前の文を訳してみてください。

S6：しかし、外国語を習う本当の重要さは、外国人とコミュニケーションをした  
り、外国の文化をもっと知ることにならず、更に深いものがあるの  
です。それは外国語を学ぶことによって、文化的な価値であれ、言語的な価値であれ、自分の国にある価値を相対的に見ることができるといことなの  
です。

T：Excellent. うまくできましたね。この段落は S6 さんが訳してくれたような意味で外国語学習の本当の重要さが後半に述べられているのです。

#### Do's and Don'ts 62

比較の対象を明らかにする。文の中には比較級や最上級の比較の対象が表れないものがある。その対象を明らかにして訳し、決してそのままにしないでおく。

Learning another language is important, because it enables us to communi-

cate with people in a different country and to learn more about that culture. But the real importance of learning another language goes even deeper.

これは [Do's and Don'ts 61] の英文である。最後にある even deeper の比較級は than to communicate with people in a different country and to learn more about that culture が省略されたものである。これを前に述べたように比較の対象を表して訳していくと理解がより深まると思えるのである。

[指導]

Do's and Don'ts 61

参照。

Do's and Don'ts 63

抽象名詞は元の動詞や形容詞に返して訳せ。そのまま訳してはいけない。

Some experts believe that physical exercise and freedom from worry might be the two most important secrets of longevity. (Vivid Reading 第一学習社)

下線部は free from worry を名詞にしたもので、「心配のないこと」の意味である。この文を訳すに当たって、freedom from worry をそのまま「心配からの自由」のように訳すのではなく、free from worry から考え、「心配のないこと」としていくとよい。

[指導]

The feelings that Americans had against slavery and for it were made stronger by this book. Soon the North and the South were at war over the question of whether any man should the right to own another.

(Vivid Reading 第一学習社)

T: この段落を見て下さい。下線部を訳してみましょう。S1 君。

S1: 人に他の人間を所有する権利があるかどうかの質問のことで、何か変な訳になります。

T: たしかに変な訳ですね。どうすればよいか考えましょう。question を質問と訳すとおかしくなりました。そこで、question を動詞にして訳してみましょう。question は動詞だとどういう意味がありますか。

S1: 「問う」とか「質問する」の意味です。

T: それでは「問う」で訳してみてください。

S1: 人に他の人間を所有する権利があるかどうかを問うということで、北部と南部が戦争になった、くらいの訳ですか。

T: その通りです。over は「～に関して」のいみですから、「人に他の人間を所

有する権利があるかどうかを問うことで、やがて北部と南部が戦争になった」くらいの訳になります。このように question を単に名詞にこだわらないで動詞に直して訳していくとうまくいく場合があります。動詞や形容詞からできた名詞などは特にそのことに気をつけて下さい。もう一つ例をあげてみましょう。次の文を見て下さい。

There are many other illusions, however, and they are created through the use of special effects.

下線部は「特殊効果の使用によって（作り出される）」でもいいのですが、use を動詞に代えて「特殊効果を使うことによって（作り出されるのです）」とするとここではよく分かる訳になるのです。動詞や形容詞からできた抽象名詞を訳す場合はもとの動詞や形容詞にして訳すということに注意して下さい。

#### Do's and Don'ts 64

文にはある語や、ある部分を別の語で言い換えたり、別の表現を持ってきたりする場合がある。その際は必ずどの部分と関連があるかをきちんと把握しなければならない。

Everyone who has seen Star Trek understands teleportation. The crew can go to any place they like in a moment by being transported bit by bit.

この2つの文の後半は最初の文に出ている teleportation を説明したものである。言い換えれば、teleportation は次の文を使って表現されたと言ってよい。英語にはこのようにある語やある部分を他の表現で言い換える場合がよくある。このことを知って訳すと上の文を、「スタートレックを見たことのある人ならテレポーテーションを理解するはずだ。つまり、乗組員が自分の好きな場所に一瞬のうちに移動できる操作なのである」くらいの訳になり、2つの文の繋がりがよく分かる。文を読む場合には欠かすことのできない読み方なのである。

#### [指導]

Think about the blackpoll warbler. This bird weighs less than 30 grams. Yet every fall, it leaves Alaska and flies across Canada to Nova Scotia. As winter approaches, the warbler takes off again. This time, it flies about 2,400 miles to South America. The tiny warbler makes this flight without breaking the journey. (Voyager Reading Course)

T：この段落を見て下さい。最初の下線部は何を言い換えたものか分かりますね。

S1 君。

S1: ズグロアメリカムシクイです。

T : Good. では次の this flight とは具体的にはなにを指していますか。S2さん。

S2: 4 行目に This time, it flies about 2,400 miles to South America. とあって、その次の文で、The tiny warbler makes this flight とありますから、this flight はおよそ2,400マイルを飛んで南米に行くことではないかと思います。

T : Very good. その通りです。このようにある語、またはある表現が別の形をとっているのを正確に把握して読むという習慣を身につけておきましょう。次の文を見て下さい。

I think the most basic and powerful to connect to another person is to listen. Just listen. Perhaps the most important thing we can give each other is our attention. (Voyager Reading Course)

この最後の下線部はいったいどのような内容を表していると思いますか。S3君。

S3: 前の listen を言い換えたものではないでしょうか。ですから、「おそらく我々がお互いに相手にあげることのできる最も大切なものは相手のいうことを聞くということである」となるのではないのでしょうか。

T : Excellent. その通りです。このようにある表現が次の文や次の段落でどのように変わっていくか、をいつも意識して読んでいくことが読みの理解には欠かせないことなのです。